

参加費無料

# 学問の自由と私たち

～政治権力による学術への介入を考える～



長谷部恭男さん



加藤陽子さん



石川健治さん

## 2026年5月23日 土

### 午後1時～午後4時30分(予定)

※開場 会場参加受付開始:午後12時30分(予定)  
ウェビナー接続開始:午後12時45分(予定)

#### 定員

オンラインは**500**名(事前申込不要)  
会場での参加は先着300名(事前申込要 5月18日(月)申込締切)

#### 開催方法・会場

弁護士会館2階講堂クレオ  
Zoomウェビナーを併用  
(東京都千代田区霞が関1-1-3)



「学問の自由は、これを保障する。」

日本国憲法は、23条でこのように定めました。しかし、この規定は明治憲法にはありませんでした。戦前、学術研究や学説の内容に国家権力が介入した歴史を踏まえて、日本国憲法に特に規定されました。

では、学問の自由とは何を保障し、何を守るものなのでしょうか。

学問・学術研究に政府が干渉することで、私たちのどのような自由・人権が侵害され、また市民社会にどのような影響が出るのでしょうか。

折しも、学問の自由への侵害との指摘もあった、日本学術会議会員6名の任命拒否問題、それに端を発する学術会議の組織改編を内容とする法人化法が、本年10月に施行予定です。

本シンポジウムでは、戦前における国家による学問への弾圧の歴史と教訓から、学問の自由が日本国憲法に特に規定された趣旨とその役割・重要性を考察し、学問の自由とは何を保障し守るものなのかを再認識するとともに、学術会議問題の本質をも改めて探求する機会にしたいと考えます。ぜひご参加ください。

#### 第1部 | 基調講演

### 「学問の自由とは何か」

#### 講師

長谷部 恭男さん  
(早稲田大学法学学術院教授)

日弁連憲法ポスター展入賞作品動画上映

#### 第2部 | パネルディスカッション

### 「学問の自由と私たち

～政治権力による学術への介入を考える～

#### パネリスト

長谷部 恭男さん (早稲田大学法学学術院教授) 加藤 陽子さん (東京大学大学院人文社会系研究科教授)

#### コーディネーター

石川 健治さん (東京大学法学部教授) 福山 洋子さん (弁護士・第二東京弁護士会)

#### ①会場にて参加の方は

以下の申込フォームからお申込みください。  
申込受付は、5月18日(月)まで。



<https://forms.gle/JpfJJK6UawZ36M1H8>

#### ②オンライン参加の方は

当日、本シンポジウム案内ページ  
(下記URL又は二次元コードからアクセス)に  
掲載する参加用URLよりご参加ください。

二弁 イベント

検索



[https://niben.jp/news/event/2026/event\\_20260523symposium.html](https://niben.jp/news/event/2026/event_20260523symposium.html)